

認定看護管理者 自己研鑽の点数換算表

※必要記載事項が記載されていない提出物は無効

	種類	内容		条件	得点	添付証明資料（コピーの提出可）		備考	様式
						提出物	必要記載事項 ※該当箇所にアンダーラインを付記すること		
Ⅰ 群（社会活動）	講師・講演等	認定看護管理者教育課程の専任教員	教育課程の企画・運営	1件	10点	勤務証明書	①教育機関名 ②担当教育課程名 ③勤務期間 ④担当教育課程の開講期間 ⑤本人氏名 ⑥活動の概要	・勤務期間に当該教育課程の開講期間が含まれる場合に1年につき1件として認める。 ・複数年にわたり勤務した場合、証明資料にてそのことが確認できれば各年10点を認める。 ・必要記載事項⑥については別紙で提出してもよい。 ※開講予定であったが休講となった期間も開講期間とみなしてよい	AR-4-1
			担当する教育課程での講師	1件	10点	以下の1）と2）両方を提出 1) 勤務証明書	①教育機関名 ②担当教育課程名 ③勤務期間 ④担当教育課程の開講期間 ⑤本人氏名	・勤務期間に当該教育課程の開講期間が含まれる場合に1年につき1件として認める。 ・複数年にわたり勤務した場合、証明資料にてそのことが確認できれば各年10点を認める。 ・「1. 教育課程の企画・運営」と併せて申請する場合は勤務証明書は同じものでよい。	
						2) 担当科目のシラバス、プログラム 等	①教育機関名 ②教育課程名 ③講義名 ④講義内容 ⑤日程 ⑥本人氏名	※開講予定であったが休講となった期間も開講期間とみなしてよい ※実施予定であったシラバス、プログラム等を提出してもよい	
		看護職、看護学生を対象とした看護管理分野に関する研修会や講義の講師		1件	10点	依頼文書 等	①講義（研修）名 ②日程 ③対象 ④概要 ⑤本人氏名	・所属施設内の活動は加点対象としない。	
		市民・他職種の研修会などの企画あるいは講演		1件	10点	依頼文書 等 企画の場合は研修の掲示物、プログラム 等	①研修名 ②日程 ③対象 ④概要 ⑤本人氏名		
		委員会活動等	看護協会、専門職能団体、学会などの役員・委員		1件	10点	依頼文書 等	①任期 ②依頼内容 ③本人氏名	
	国、県、市町村の衛生行政に関する審議会などの委員		1件	10点					
	サーベイヤー	第三者評価のサーベイヤー（視察）		1件	5点	公的な訪問審査（視察）を担当したことが確認できる公文書 等	①訪問審査（視察）の対象 ②日程 ③概要 ④本人氏名	・訪問審査（視察）への参加1回につき1件とし、5年間で2件10点まで認める。	
	組織等の 設立・運営	地域におけるネットワークの構築、看護に関する研究会・組織の設立・運営など		1件	10点	以下の1）または2）を提出 1) 構築や設立に関わったことがわかる資料	①ネットワーク・会・組織の名称 ②設立年 ③本人氏名	・設立年度を加点対象とする。	
						2) 運営に関わったことがわかる資料	①会・組織の名称 ②日程、回数 ③対象 ④概要 ⑤本人氏名	・1年につき1件として認める。 ・複数年にわたり実施した場合、証明資料にてそのことが確認できれば各年10点を認める。	
		他職種、市民を交えた看護に関連する組織の設立・運営など		1件	10点	以下の1）または2）を提出 1) 設立に関わったことがわかる資料	①組織名 ②設立年 ③本人氏名	・設立年度を加点対象とする。	
						2) 運営に関わったことがわかる資料	①組織名 ②日程、回数 ③対象 ④概要 ⑤本人氏名	・1年につき1件として認める。 ・複数年にわたり実施した場合、証明資料にてそのことが確認できれば各年10点を認める。	
	看護活動への表彰	県知事表彰など		1件	10点	表彰内容がわかる資料	①表彰名 ②表彰年 ③本人氏名		
		国際的表彰		1件	20点				
Ⅱ 群（研修プログラム・学会・研究会への参加・発表等）	研修プログラム・学会・研究会参加	看護管理に関する最新の情報・知識・技術の修得のための研修プログラムなどへの参加		1件	3点	参加証、修了証、受講証、領収書 等	①プログラム名 ②日程 ③本人氏名 ④主催者の押印	・参加証、修了証、受講証は原本であれば「④主催者の押印」がなくても有効。但し、押印のない領収書は原本であっても無効。 ・4時間未満の場合には、2点で申告すること。	AR-4-4
		学会・研究会への一般参加		1件	3点	参加証、修了証、受講証、領収書 等	①学会・研究会名 ②日程 ③本人氏名 ④主催者の押印	・海外での国際会議及び学術集会の証明資料に「④主催者の押印」がない場合は、原本であれば押印がなくても有効。	
	学会・研究会発表	筆頭者		1件	10点	学術集会誌等の表紙、目次、抄録 等	①学会・研究会名 ②発表日程 ③演題名 ④本人氏名 ⑤抄録	・①～⑤について確認できるページ（複数にわたっても可）のコピーを提出すること。 ・審査の対象とならない資料（学会の発表原稿等の自作資料）は添付しない。	AR-4-2
		共同研究者		1件	5点				
	学会・研究会講演等	学会長		1件	15点	学術集会プログラム、学会誌の目次 等	①学会名 ②日程 ③学会長（本人）名	・プログラム及び目次だけでは①～③の記載が網羅されない場合は、記載のある資料（主催者が作成したもの）をあわせて提出のこと（自作のものは不可）。	AR-4-3
		講演講師		1件	10点	依頼文書、講演の抄録 等	①学会・研究会名 ②日程 ③演題名 ④本人氏名	・依頼文書及び抄録だけでは①～④の記載が網羅されない場合は、記載のある資料（主催者が作成したもの）をあわせて提出のこと（自作のものは不可）。	
		シンポジスト		1件	10点				
		座長		1件	5点	学術集会プログラム、学会誌の目次 等	①学会・研究会名 ②日程 ③座長担当部分の演題一覧 ④座長（本人）名	・プログラム及び目次だけでは①～④の記載が網羅されない場合は、記載のある資料（主催者が作成したもの）をあわせて提出のこと（自作のものは不可）。	
	論文発表・専門誌等の執筆	筆頭執筆者		1件	10点	別刷、コピー 等	①雑誌・書籍名 ②出版年月 ③題名 ④本人氏名 ⑤内容（概要のわかる部分）	・インタビュー記事は対象外（事例検討または看護研究などを学会誌や雑誌などに発表したものの[原著論文、総説、報告など]とする）。 ・出版年月が審査対象期間であること。 ・①～⑤について確認できるページ（複数にわたっても可）のコピーを提出すること。	AR-4-5
		共著者		1件	5点				

注1： 原則として各年10点以上であること。
注2： 5年間の合計が50点以上であること。
注3： Ⅰ群Ⅱ群ともに10点以上であり、Ⅰ群30点、Ⅱ群20点以上であることが望ましい。
注4： 1つの活動内容が2つ以上の加点対象となる場合、点数の高い方で申請すること。
注5： WEB開催の研修、学会等の参加の場合も申請可能。必要記載事項が確認できるWEB画面を印刷し、証明資料としてもよい。
注6： WEB開催の学会等の発表、講演等の場合も申請可能。必要記載事項が確認できるWEB画面を印刷し、証明資料としてもよい。